



題 字
初代会長 松野 盛吉
定 価 1部 48円
(購読料は年会費に含む)

発行人
〒010-0951
秋田市山王四丁目1番2号
秋田地方総合庁舎内
秋田県消防協会
会長 高橋 正尚
電話 018-867-7320
FAX 018-863-5910
<http://www.shoubou-akita.or.jp>
E-mail:ask@shoubou-akita.or.jp

印 刷
〒010-0951
秋田市山王7丁目5-29
株式会社 松原印刷社
電話 018-862-8760
<http://www.matsubarainsatsu.co.jp>

年頭の ごあいさつ



一般財団法人秋田県消防協会
会長 高橋 正尚



令和三年の新春を迎え、県民の皆様並びに消防職・団員はじめ消防関係者の皆様に謹んで御挨拶を申し上げます。

皆様には、日ごろから地域住民の生命・財産をあらゆる災害から守るため、昼夜を問わず活動され、様々な努力をされていることに心から感謝と敬意を表します。

さて、昨年は世界中が新型コロナウイルスに翻弄された一年でした。私たちの生活様式や仕事のしかたが様変わりし、当協会においても行事等に大きな影響を受けました。

鹿角市で開催を予定していた「第七三回秋田県消防大会」を来年度に延期したほか、千葉県で開催が予定されていた全国消防操法大会が中止になったことを受け、「第五七回秋田

令和二年度全国統一防火標語

その火事を 防ぐあなたに 金メダル

県消防操法大会の中止を決定し、地区大会も軒並み中止を余儀なくされました。

他方、マスク、手洗い、三密回避など、感染対策の基本が浸透し県民の慎重な行動が定着するにつれ、本来の活動を取り戻そうという動きも出てきました。

一〇月の女性消防団教育、一二月の消防団員指導員研修、一二月の女性消防団ネットワーク会議には、現場を担う多くの団員に参加していただき、大変心強く感じたところであります。

主要な行事を中止することによる技能・士気の低下などを懸念する声も聞かれるようになりました。

大都市圏では感染者が増え続けているので楽観はできませんが、来年度は感染対策に十分配慮しながら、できるだけ行事を実施できるように努めてまいりたいと思っております。

近年、我が国では、これまでの予測や経験を超える災害がいつどこでも発生するようになってきました。こうした事態に対応するため、消

防職・団員の装備の充実や教育訓練、さらに地域住民を巻き込んだ防災減災の備えが一層重要になると思っています。

皆様におかれましては、地域における消防防災の要として、これまで培われてきた知識と豊富な経験を活かし、お力添えを賜りますようお願いいたします。

新型コロナウイルスの早期収束と本年が平穏な年になりますこと、さらに皆様にとって充実した素晴らしい年であることを祈念し、新年の御挨拶といたします。



令和三年の 新春を迎えて

秋田県知事

佐竹 敬久



令和三年の輝かしい新春を迎え、県内消防関係者の皆様に謹んで新年のお慶びを申し上げます。

皆様には、新型コロナウイルス感染症の拡大により、様々な消防関係の行事が中止や延期を余儀なくされる中、県民の生命・財産を守るため、消防防災活動に精励して頂いていることに対し、深く敬意を表しますとともに、心から感謝を申し上げます。

さて、昨年の国内での主な災害を振り返りますと「令和二年七月豪雨」では、死者、行方不明者を合わせて八六名が犠牲になるなど、熊本県をはじめ九州地方を中心に甚大な被害をもたらしました。

本県においても、同じく七月に、停滞した梅雨前線の影響により、県南部を中心に大雨となり、一部の住宅が破損や浸水の被害を受けましたが、幸いにも人的被害がなかったことは、市町村をはじめ消防職員・団員の皆様の的確な防災活動の賜物で

あり、改めて感謝を申し上げます。

県としましては、頻発する自然災害や火災など様々な危機事案から県民の生命と財産を守り、安心・安全に暮らせる地域社会を維持していくため、各市町村及び消防本部との連携をより強固にし、消防防災体制や救急救命体制の更なる充実とともに、消防団や自主防災組織の体制強化など、総合的な防災力の向上に取り組んでいくこととしております。

また、減少を続ける消防団員の確保に向けた取組を進めるほか、女性消防団員の情報交換の場である「秋田県女性消防団ネットワーク会議」や若手消防団員によるイベント開催を支援するなど、消防団の活性化と魅力向上に向けた活動を後押しするとともに、惨事ストレスが危惧される災害等が発生した場合のサポート体制の構築と支援にも努めてまいりますので、皆様におかれましても、地域防災の担い手として一層精励され、地域の安全・安心の確保のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が火災や災害のない平穏な一年でありますとともに、新型コロナウイルス感染症の一日も早い収束と、皆様方の一層のご健勝、ご活躍を祈念いたしまして、年頭のあいさつといたします。

「新たな災害環境」への対応

―新春のあいさつ―

公益財団法人日本消防協会

会長 秋本 敏文



新年おめでとうございます。火災・自然災害が相次ぐだけでなく新型コロナウイルス

ウィルス感染症が大きな問題となるなど、大変ご苦労が多いなかの新年です。心の中は穏やかでないものがございますが、新しい年をよい年とするよう、気持ちを新たにしたいと存じます。

そのようななかで、常日頃、地域の皆さんの安全確保のためご尽力頂いている秋田県消防の皆様から感謝しあげ、敬意を表します。

近年、災害の様相が変化してまいりました。フェーン現象下の火災等のほか、台風や局地的な豪雨が、これまでの常識を大きく超える大規模なものになっていきます。消防はこうした状況変化、いわば「新たな災害環境」への変化を正面から受けとめながら、新たな気持をもって対処しなければならぬと思えます。

今年、東日本大震災から一〇年を迎えます。さらにさかのぼります

と、関東大震災から間もなく一〇〇年となります。このようなさまざまな過去の体験から得た教訓を活かしながら、対応しなければなりません。そこで重要なのは、常備消防、消防団など関係機関のそれぞれの体制を強化するとともに、中広い消防防災関係の方々の連携協力が必要です。

そして、災害発生現場の実情に応じながら必要な行動を展開する、それぞれの地域の対応が重要です。防災の原点は「地域」です。

そこでは、地域の皆様の総参加、総活躍を進めなければなりません。その場合、地域と密接につながっている消防機関の存在は極めて大きいと思われまます。ご苦心ご苦労が多いと存じますが、どうぞよろしくお願いいたします。

今、日本消防協会では、新しい消防会館の建設を進めておりますが、この新会館は、このような中広い関係者の方々の総力結集による消防防災体制の充実強化に役立つものにしなればならぬと考えております。

最後に県内の無事平穏、秋田県消防の皆様のご健勝ご多幸を心からお祈り申しあげ、新年のあいさつとさせていただきます。

年頭の ごあいさつ



秋田県市長会会長
秋田市長
穂積 志



全県の消防関係者の皆様に謹んで新年のご挨拶を申しあげます。

また、皆様におかれましては、日頃より地域防災の第一線に立たれ、住民の生命、財産を守るため、日夜奮闘されておりますことに、深く敬意を表します。

さて、昨年の災害の状況を振り返りますと、気象庁の「大雨特別警報」が発表された「令和二年七月豪雨」では、九州地方を中心に集中豪雨が発生し、中でも熊本県の球磨川水系では一三か所の氾濫や堤防決壊により多数の死傷者を出し、甚大な被害をもたらしました。

また、昨年は新型コロナウイルス感染症の影響により、秋田県消防操法大会や全国消防操法大会が中止となりましたが、皆さまの消防技術向上のため培った努力と訓練は、間違いなく地域住民の安全安心に直結するものと確信しております。

近年の災害は、爆弾低気圧やゲリラ豪雨、竜巻の頻発など多様化かつ大規模化しており、このような大規模災害に対しては、本県各市町村におきましても、常備および非常備消防力の充実強化はもとより、災害に対する住民一人ひとりの自覚や備え、心がけが重要であり、地域防災力のさらなる向上が必要不可欠であると認識しているところでありま

す。全国市長会におきましても、消防強化に係る財政措置の拡充や、常備および非常備消防に対する実情を反映した交付税措置等、消防・救急体制の充実強化について国への提言しておりますが、少子高齢化および人口減少に伴う災害弱者の増加が著しい本県において、消防防災体制のさらなる充実強化と県民の信頼と期待に応えるため、なお一層のご精進とご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、一日も早い新型コロナウイルス感染症の終息とともに、関係各位のご健康とご多幸、そして何よりも本年が災害のない平穏な一年であることを祈念いたしまして、年頭のごあいさつといたします。

令和三年の 新春を迎えて



秋田県消防長会会長
秋田市消防長
工藤 琢磨



令和三年の輝かしい新春を迎え、県内の消防関係者の皆さまに謹んで新年の

お慶びを申し上げます。皆さまには、各種災害から地域住民の生命、身体、財産を守るため、日夜献身的にご尽力されておられますことに、心より感謝と敬意を表します。

昨年の消防長会各種事業におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった事業がある一方で、開催地の消防関係者のご協力のもと、感染拡大防止対策を徹底した上で開催できた事業もありました。改めて、関係者の皆さまに厚く御礼申し上げます。

さて、昨年の災害を顧みますと、熊本県を中心に九州や中部地方など日本各地で発生した「令和二年七月豪雨」では、死者行方不明者あわせて八六八人、負傷者二九人を出す事態

となりました。被災地の復旧では、感染拡大防止のため、復旧作業に遅れが生ずるなど、被災地の方々は、身体的にも精神的にも大変大きな苦痛を受けることになりました。

広域化、甚大化の一途を辿る自然災害と感染症が蔓延する、過去に例のない状況に対しては、常備、非常備の対応はもちろん、他の関係機関との調整やさらなる連携が望まれているところでもあります。

人口減少や超高齢化、生活様式の変化など社会環境の変化への対応に加え、喫緊の課題とされている大規模災害対策や地域防災対策の構築など、安全安心確保に向けた取り組みを進めていかなければなりません。

あらゆる災害事象に迅速、的確に対応していくため、地域の総合的な防災力の中核として、さらなる組織体制の充実を目指していかなければならないと認識しております。

新型コロナウイルスの社会的影響度や対応策が見通せない状況にありますが、今後明るい方向となりますことと、皆さま方の益々のご健勝とご多幸、そして本年が平穏な一年であることを祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

令和三年 消防出初式

令和三年の消防出初式は、一月四日から一六日にかけて、県内二一地区で消防団員ら約三、五〇〇名が参加して行われました。

秋田県知事あいさつ(要約)

令和三年の新春を迎え、消防出初式が厳かに開催されますことをお慶び申し上げます。

新型コロナウイルスの感染拡大により、消防防災活動も影響を受ける中、最前線においてご活動いただいている皆様に対し、厚くお御礼を申し上げます。

県では、安全安心な地域社会を維持できるよう、消防防災体制の充実とともに、消防団や自主防災組織の体制強化など、総合的な防災力の向上に取り組みでまいりますので、皆様におかれましても、地域防災の担い手として一層精励され、安全安心の確保にお力添えを賜りますようお願いいたします。

本年が火災や災害のない平穏な一年であるとともに、皆様方のご健勝ご活躍を祈念し、お祝いの言葉といたします。



小坂町消防団



鹿角市消防団



北秋田市消防団



大館市消防団



藤里町消防団



上阿仁村消防団



湯上市消防団



男鹿市消防団

八郎潟町消防団



五城目町消防団



秋田市消防団



井川町消防団



にかほ市消防団



由利本荘市消防団



仙北市消防団



大仙市消防団



横手市消防団



美郷町消防団





羽後町消防団



湯沢市消防団



能代市、三種町、八峰町、大潟村は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、消防出初式を中止しました。



東成瀬村消防団

令和2年度 秋田県女性消防団ネットワーク会議

令和2年度女性消防団員ネットワーク会議が、二月五日(土)イヤタカで、女性消防団員、消防長、消防団長など約九〇名が参加し開催されました。

会議では、富山県小矢部市消防団女性分団長 嶋田幸恵氏が「今こそ、活かそう! 『女性消防団のチカラ』」と題して講演を行いました。

嶋田氏は、分団長のほか小矢部市議会議員や富山県女性消防団員連絡協議会長、富山県消防協会理事などを努められており、当日は市議会開会中の忙しい合間を縫って来県されました。

講演では、富山県が出火率全国最少二九年連続を続けていることや、防災士の資格を取得して女性のための防災講座に取り組んでいること、障害者との防災訓練、団員・署員合同英語研修を企画実践していることなどが紹介されました。

また、リーダーは強くなければならないという信念で、雨の日でも雪の日でも現場に立ち続ける、火災があれば何時であろうと現場に駆けつけるとエネルギーギッシュな活動ぶりも語っておられました。

参加者は、類い稀なリーダーシップと行動力に圧倒されながらも、にこやかに語る嶋田氏に魅了されたようで、「楽しみながら活動していることに感銘を受けた」「視野を広く持ち自分の目で見て考えて行動することが大切」などの感想が寄せられました。



熱心な参加者①



講演の様子



嶋田幸恵氏



高橋直子さん(秋田市)



質問を聞く嶋田氏



熱心な参加者②

防災活動車が交付されました

日本消防協会から羽後町消防団に福祉共済事業による車両が交付され、同消防団から御礼のメッセージが寄せられました。

特別豪雪地帯にも指定されている当町では、年間を通じて活躍する四輪駆動の広報車は大変貴重であり、今回の交付に感謝申し上げます。この車両とともに、今後も地域の消防・防災活動により一層尽力してまいります。



トーハツ消防ポンプ
モリタ自動車ポンプ 総合防災設備センター
消防被服全般
秋田県代理店

株式会社 高義商会

(営業種目) トーハツ小型動力ポンプ
モリタ自動車ポンプ
ジェットホース
消防被服全般
火災報知器各種
消火器各種



〒012-0105 本社 湯沢市川連町字万九郎屋布32
TEL(0183)(42)2125
〒012-0844 湯沢市田町 TEL(0183)(73)2588

株式会社 タカギ

秋田県横手市寿町1番28号
TEL (0182)(32)3880
FAX (0182)(32)0839

(営業種目)

日本機械自動車ポンプ | 消防設備保守点検
トーハツポンプ | キンバイホース
各種消防機械器具 | 各種消火器

ホームページ <http://it-yokote.sakura.ne.jp/>
E-mail ykttkg@jasmine.ocn.ne.jp

モリタ消防ポンプ シバウラポンプ
桜ホース・ソフト吸管 消防被服一式
各種消火器 消防機器一式

株式会社 能代消防センター 株式会社 協立

〒016-0814 能代市能代町字中川原33番地57
TEL (0185)(52)6494
(52)6361

地域の防災、災害対策に貢献!

消 防
ポンプ自動車
小型ポンプ
ホース

設 備
火災報知器
スプリンクラー
消火器

猿田興業株式会社

秋田市山王六丁目10番9号 TEL 018 (863) 1551(代)
猿田興業ビル3F FAX 018 (824) 3651

支部情報アラカルト

コロナ禍での消防出初式

令和三年一月十六日(土)、由利本荘市消防出初式が由利本荘市文化交流館力ダールで開催されました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大により、様々な消防団行事が検討・見直しとなっている中、年頭恒例の行事である「消防出初式」の開催をどうすべきか検討することとなりました。

まず始めに、県内の消防出初式の開催状況を把握するため、各消防団事務局に聞き取り調査を行い、その調査結果を基にいくつかの案を作成



し、市消防団幹部会議にて協議しました。

例年は市役所前で消防団による一斉放水、分列行進などを実施していたものを中止とし、式典は出席者を限定、規模を縮小して開催することとなりました。また、例年一月五日としている開催日時を、年末年始の人の往来による感染リスクが懸念されるため、一月十六日に変更し、式典の賞状伝達は代表受領としました。

感染予防対策を徹底しながらの例年とは異なる消防出初式となりましたが、消防団員や関係機関に理解をいただきながら、無事終えることができました。

新型コロナウイルス感染症の収束する気配も見えず、今後の行事も前例にとら



われることなく、団員の安全を第一に事業の開催について検討・実施していきたいと思えます。

最後に、県内の各消防団事務局の皆様には、快く聞き取り調査にご協力いただきありがとうございました。

火災の発生状況 (速報値)

(秋田県総合防災課調べ)

	令和3年		令和2年			同期比較	
	1月	累計	1月	累計	年計	1月	累計
建 物	25	25	9	9	172	16	16
林 野	1	1	0	0	25	1	1
車 輛	1	1	3	3	26	- 2	- 2
その他	0	0	3	3	81	- 3	- 3
合 計	27	27	15	15	304	12	12
死者数	6	6	0	0	23	6	6
負傷者数	4	4	3	3	59	1	1

〔情報提供〕由利本荘にかほ支部



消防職員、団員への贈り物

退職・叙勲・受賞・年祝などにご利用下さい。



まとい工房 南天
https://www.nanten64.com



〒010-0945
秋田市川尻みよし町9-3
渡部 顕
090-8924-6122

消防 半天・帯・団旗
優勝旗・ゼッケン
手拭・タオル・のれん
旗幕類名入染物専門

寺 田 染 工 場

横手市清川町 ☎32-0416